

地域教育文化研究科

教育プログラムの名称：臨床心理学専攻

授与する学位の名称：修士

**【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】**

山形大学大学院及び地域教育文化研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム(臨床心理学専攻・修士課程)では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1. 心理職に求められる学術上の高度な概念や原理を体系的に理解している。
2. 心理職従事者としての倫理観と責任感を持ち、コンプライアンス遵守の精神を身に付けている。
3. 心理専門職に求められるコミュニケーション能力を身に付けている。
4. 自身の持つ知識・技能を多角的に捉え、諸課題への対応力がある。
5. 現在の社会状況を理解し、心理職としての課題を見出す力を身に付けている。
6. 課題を決するための判断を行い、行動する力量を身に付けている。
7. 心理職としての実践等を通して、提言を行う力量を身に付けている。

**【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】**

山形大学大学院及び地域教育文化研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、臨床心理学専攻(修士課程)の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 高度な専門職である心理職従事者としての知識と技能を体得するために、体系的に構成されたカリキュラムを編成する
2. 心理職としての実践性を高めるために、実務経験を重視した実習教育を拡充する。
3. 修士論文作成に向けて、専門的かつ多面的な考察をするために、適切な助言・指導を行い、主体的な取り組みを促す。
4. 生涯を通して心理職として主体的に学び続ける動機付けとなるような、多様な臨床心理学等の知識と実践性につながる技能が身につく教育を、初年度から実施する。
5. 実務経験に関する組織だった実習を通して、専門職としての技能を高めるための組織的な指導を実施する。
6. 自らの課題を発見して、解決に向けて探求し、成果を表現する能力を培う

ため、参加型、対話型の学生主体の授業を充実する。

7. 主担当、副担当制を導入し、教員全体で、修士論文作成に向けた指導を行う。

#### 【入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)】

臨床心理学専攻は、保健・医療、教育、福祉、司法・矯正、産業等の領域において、臨床心理学をはじめとする心理学の知識や諸技法を活かし、心理支援の確かな業務遂行能力を持つ高度な専門家(公認心理士、臨床心理士)を養成します。

また、臨床心理学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像

- 心理職を強く志向し、心理支援の実践力を身に付けたいという意欲を持つ人
- 心理職に求められるコミュニケーション能力を持つ人
- 臨床心理学に関する専門的な知識と技術を身につけたいという意欲を持ち、かつ、努力し続けることができる人
- 専門性を活かしながら社会的な役割を担うことを目指し、その実現のために努力することができる人

#### ◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 推薦入試(面接、出願書類を総合して判定)
- (2) 一般入試(筆記試験、面接、出願書類を総合して判定)
- (3) 社会人入試(筆記試験、面接、出願書類を総合して判定)
- (4) 外国人留学生入試(筆記試験、面接、出願書類を総合して判定)